



地域とともに

教科書では、学べないことも。

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

TEL 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

HP <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

文責 校長・高橋 豊

7月17日(金) 3年生・探究成果発表会開催

地域の課題や関心のある事項について主体的に取り組んできた「地域デザイン(地域探究活動)」の集大成として、以下の通り発表会を開催いたします。

生徒たちが自らフィールドワークを行い、検証を重ねて導き出した成果を広く地域の皆様にご紹介する場です。ぜひご来場いただき、生徒たちの活動をご覧ください。詳しくは[こちらのホームページの記事](#)をご覧ください。

「発表テーマ一覧」 ①大根の可能性 ②わくわくクッキングから生まれる地域のつながり ③道の駅の新しい特産品 ④大樹町の人に猟師を知ってもらうには ⑤大樹町の有害鳥獣による農作物被害を減らすには ⑥より多くの人に大樹町の飲食店へ足を運んでもらうためには ⑦空き家の家主で困っている人をどのような方法で助けられるか ⑧不用品を通じた地域交流 ⑨SNSで大樹高校の魅力を伝えるためには ⑩地元の特産品を使ったお土産品をつくり、大樹町の魅力を伝えたい ⑪高齢者が参加できるイベントについて ⑫大樹高校の入学者を増やすには ⑬大樹町民に大樹の宇宙産業を理解してもらうには

TAIKI HIGH SCHOOL

探究成果 発表会

7/17(金)

この発表会は

大樹高校3年生の「地域デザイン」の成果発表会です。生徒がみなさんから見たら、聞いた、自分たちで検証した内容をもとに、自身の考えの変化や未来への提案など、各々の探究成果を発表いたします。

日時: 7月17日(金)

9:45 開場

10:00 成果発表会スタート

12:20 終了予定

※終了時間は前後する可能性があります

場所: 大樹町生涯学習センター
コスモスホール

●入り口で氏名をお預かりいたします。



タイムスケジュールとテーマ↓

10:05-11:00

1. 大根の可能性
2. わくわくクッキングから生まれる地域のつながり
3. 道の駅の新しい特産品
4. 大樹町の人に猟師を知ってもらうには
5. 大樹町の有害鳥獣による農作物被害を減らすには
6. より多くの人に大樹町の飲食店へ足を運んでもらうためには

11:10-12:15

7. 空き家の家主で困っている人をどのような方法で助けられるか
8. 不用品を通じた地域交流
9. SNSで大樹高校の魅力を伝えるためには
10. 地元の特産品を使ったお土産品をつくり、大樹町の魅力を伝えたい
11. 高齢者が参加できるイベントについて
12. 大樹高校の入学者を増やすには
13. 大樹町民に大樹の宇宙産業を理解してもらうには

2年生・地域デザイン「福祉」ふれあいカフェで交流

6月末の2日間、2年生は「地域デザイン」で福祉をテーマに学びを進めました。

初日は大樹町福祉センターを訪問し、ふれあいカフェというイベントで交流活動として、音楽体験やゲーム等を高齢者の方と一緒に行いました。高齢者と接する機会は高校生にとって大変貴重な時間になったようです。これを受けて次の日、ふれあいカフェでボランティアを行っている方と、ボランティアへの想い、高齢者の気持ち、高校生が高齢者にできることなどの意見交換や交流企画の考案を行いました。

地域の様々な産業について、フィールドワークを中心に学ぶ機会は一度区切りとなります。これまでの学び、そしてこれから10月に台湾見学旅行を中心とした事前・事後の国際理解の学びを踏まえ、12月以降のグループ課題研究に臨みます。

